

◎ 目指すまちの実現に向け「基本計画」を検討します

多治見市が目指す「基本構想」の実現に向けて、庁内ワーキング・市民委員会での議論を踏まえ、「基本計画」を策定していきます。



◎ 今回の見直しにあたって

第7次総合計画（後期計画）では、人口減少対策を見直し方針の1つとしています。全国的に人口減少社会を迎え、国は日本の人口が約30年後1億人を下回ると推計しています。多治見市でも、今の減少傾向が改善されなければ、2028年には10万人を下回る見込みです。

人口減少により市税収入が減少する中、高齢化による社会保障費や公共施設の老朽化に伴う支出の増加が見込まれます。今後も持続可能なまちづくりのため、企業誘致などによる収入の確保、移住定住促進などによる人口減少対策、地域力の向上を推進することが課題となっています。一人一人がこの認識を共有し、事業を推進していくことが必要です。

持続可能な開発目標（SDGs）

地球環境や自然環境が適切に保全され、持続可能な社会を実現するために設定された国際社会共通の目標のこと。17の目標があり、貧困・働きがい・気候変動などの世界が抱える課題を包括的に挙げています。

日本では「まち・ひと・しごと創生基本方針」で地方公共団体におけるSDGs達成に向けた取り組みの推進が盛り込まれています。

いつまでも住み続けられるまちづくりを考えるとともに、日常生活でできることを認識する事も大切です。

